

タイトル	鮮魚タッチプログラム ～本物の魚に触れてぎょぎょぎょ！ 食育推進～
------	---

いつ 実施日時・工期	令和7年12月16日（火） ① 低学年 20分休み（10:25～10:45） ② 高学年 昼休み（13:25～13:45） ※保護者、地域の方、本町保育園の園児は時間内であれば、 いつでも参観可能
どこで 会場・開催地等	和光市立本町小学校 1階ホールと玄関前の屋根付きスペース
だれが 主催者・関係者	主催：和光市立本町小学校 協力：一般財団法人 大日本水産会 魚食普及センター 埼玉東上地域大学教育プラットフォーム（TJUP） 株式会社ベルク
なにを 事業内容など	全学年の児童を対象に、体験型の食育学習活動を開催します。 当日は、児童が鮮魚に直接触れたり、魚の解剖の様子を見学したりすることで、魚への理解を深めます。こうした体験的な学びを通じて、魚離れの防止やフードロス削減、持続可能な食生活への意識向上を図ります。 また、保護者や地域の皆様にもご参加いただき、学校・家庭・地域が一体となった食育の推進を目指します。
なぜ 目的・理由	この行事は、普段あまり触れる機会のない鮮魚を使った体験活動を通じて、児童が食への関心を高め、命の大切さ

	<p>や食材を大切にする心を育み、より豊かな食生活を送れるようにすることを目的としています。併せて、食育の推進や持続可能な食生活への理解を深めることもねらいとしています。</p>
どうした 経緯・経過	<p>本プログラムを実施するきっかけは、本校教頭が令和7年11月5日に行われた「令和7年度 彩の国学校給食研究大会」に参加した際、魚食普及推進センターによる講演を聞いたことです。その中で、水産物を身近に感じられる小学校向け体験プログラムが紹介されました。児童がより豊かな食生活を送れるようにとの思いから、本町小学校ではこのプログラムに応募し、当選したことで実施に至りました。</p>
金額	<ul style="list-style-type: none"> 学校が魚を用意しますが、その購入費用に対して、魚食普及推進センターから補助金を受ける予定です。
その他	<ul style="list-style-type: none"> 魚の卸売り場では名前や種類が不明のため、売れない魚が800種類もあり、フードロスにつながっています。このことを解決するために、魚食普及推進センターが全国の小・中学校で見たこともない魚に触れる体験を開催したところ、大盛況となり、講師が足りない状況になりました。そこで、講師不在でも休み時間でも気軽に行える「鮮魚タッチプログラム」を開催することになりました。 埼玉県東上地域大学教育プラットフォームとは、埼玉県の東武東上線の大学・短期大学、自治体、企業が連携し、地域産業の活性化を目指した団体です。和光市は、プラットフォームの活性化対象地域であり、株式会社ベルク様は協定を締結した企業です。

	<ul style="list-style-type: none">・魚の調達は、株式会社ベルク様に依頼・魚のさばきは、保護者と地元の方に依頼・アレルギーや衛生面を考慮して、児童がその場での魚の試食体験は実施しない。
問い合わせ先 担当課	課 名 学校教育課 氏 名 辻 英一 電 話 048 - 424 - 9149